

不祥事根絶のための行動計画

世羅町立世羅西中学校
作成責任者 校長 中和 洋之

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

- 1 「私たちは、生徒の模範となる行動をします」
- 2 「私たちは、子どもたちが安心して過ごせる学校をつくります」
- 3 「私たちは、教育者たる自覚を持って行動します」

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○交通事故 H31年1月、道路の脇に設置されている丸い反射材のついたポール（デリネーター）に衝突。 ○机上や棚などの整理整頓ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○安全運転、道路交通法やマナーの遵守 教職員が中心で進める服務研修内容の立案・実施をする。 ○「机の上を常に整理整頓する」など、形から全教職員の意識を高め、実行可能なことを徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学期に1回、学年ごとに服務研修内容を立案・実施する。 ○「個人情報の管理」を再度徹底するとともに、毎週水曜日には、職務環境改善のために、机上や棚などの整理整頓を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学期終了1ヶ月前、実施状況を点検する。 ○不祥事防止委員会において、月に1回、点検・評価する。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○業務が、教職員個人まかせになりがちであり、共同して進めていく機会が少なくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、チェックや業務が組織的にできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学年会や各委員会等で互いの仕事の進捗状況を確認し、特定の者に負担がかからないよう集団でサポートする体制をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○不祥事防止委員会で、月に1回情報交換を行い、状況を把握する。
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○業務に追われ、職務遂行上の課題等を相談しにくいことがある。 ○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知が年度当初のみであり、認知度が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題について気軽に相談できる風土を醸成する。 ○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○職員が管理職やカウンセラー等と面談する機会を設ける。 ○学校だよりも、複数回、「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」について掲載して、保護者に周知徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学期に1回 ○学期末保護者アンケートに、相談窓口の認知度についてのアンケート項目を入れる。